

8

災害発生時の人権

誰もが過ごしやすい避難所をめざして

1 対象

小学校 4～6年生、中学生

2 ねらい

「災害弱者」と言われる高齢者や障がい者、病人やけが人、女性、子ども、外国につながる人などの特別な配慮や支援が必要な人がいることに気づき、災害時にもお互いの人権を尊重しようとする態度を育てる。

3 準備するもの

- イラスト（黒板掲示用）
- イラスト（各グループへの配付用）
- ワークシート①②

4 解説

災害発生時は、被災したすべての人に生活の困難が生じ、基本的人権が保障されない状況が生じる。避難所生活では、通常の生活の中では感じたことのない不安感やストレスを感じてしまう。高齢者や障がい者、病人やけが人、女性、子ども、外国につながる人などの「災害弱者」の困難は大きく、人権侵害が起きる可能性がある。災害に備えて、一人ひとりの事情を考慮しながら、どのような人権意識を持って対応すればよいかを日頃から考えておくことが大切である。この備えが、いざという時の行動につながる。ワークをとおして、災害時に特別な支援や配慮が必要な人たちの存在を認識し、人権尊重の視点に立った支援について考え、行動しようとする態度を育てていく。

5 進め方（展開例） 45分（中学校 50分）

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレーキング（8分）</p> <p>「困ったことグランドスラム」</p> <p>①グループのメンバーで、順番に「町の施設や交通機関などで困ったこと（経験）」を出し合う。</p> <p>②①について、同じように感じたことがある人がいたら、その人数の所に書き出していく。</p> <p>③すべての人数欄が埋められたらグランドスラム達成。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを簡単に説明する。 〔P4「学習を進めるにあたって」の内容〕を生徒に伝える。 ・1グループ4名程度 ・グループに1枚、ワークシート1を配付する。 ・困ったことの内容を、発言した人と同じように感じた人の数を合計した人数の所に書き出す。 ・達成していなくても時間になったら終了とし、まとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1
<ul style="list-style-type: none"> ・場所や状況によって、誰にでも困ってしまうことがあることに気づく。 ・同じ状況になったら、自分も同じように困ってしまうかもしれないことに気づく。 			

<p>展開</p> <p>30分 (中学校 35分)</p>	<p>◆アクティビティ 30分 (中学校 35分) 「誰もが過ごしやすい避難所をめざして」</p> <p>①イラストを見て、困っている人を探し、なぜ困っているのか考える。</p> <p>②ワーク 1 をもとに困難を解消する方法を 3 ～ 4 人のグループで話し合う。</p> <p>③誰もが過ごしやすい避難所にするための方法を話し合う。</p> <p>④グループで話し合った内容をクラス内で発表する。</p> <p>⑤グループで活動の感想を発表し合う。</p>	<p>•ワークシート2とイラストを配付する。</p> <p>•特別な支援や配慮を必要とする人たちの存在に気づかせ、具体的な困難さについて考えさせる。</p> <p>•困難を解消するための具体策を考えさせる。</p> <p>•すべての人の立場に立って、困難を探し、誰もが過ごしやすくなる具体策を考えさせる。</p> <p>•全グループの発表後に、グループでは気がつかなかった感想について発表させてもよい。</p>	<p>•ワークシート2 •イラスト</p>
<p>まとめ</p> <p>5分</p>	<p>◆まとめ (5分) •まとめの話を聞く。</p>	<p>•授業をとおして児童・生徒から出された感想や記述をもとに、ねらいを押さえ、まとめる。</p>	
<p>•高齢者や障がい者、病人やけが人、女性、子ども、外国につながる人などの特別な配慮や支援が必要な人がいることを想像し、災害時に限らず、支援の際には、相手の立場に立ち、必要な手立てを考えることが大切である。</p>			

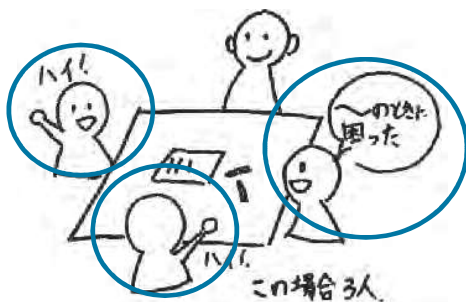
<参考資料など>

「人権教育学習資料集 『なかまとともに・高等学校』」奈良県教育委員会 (平成 28 年 1 月)

こま
「困ったことグランドスラム」

- ①グループのメンバーで、順番に「交通機関や町の施設などで困ったこと（経験）」を出し合ってください。
- ②出し合った困ったことの内容を、発言した人と同じように感じた人の数を合計した人数の所に書き出してください。
- ③1人～4人、すべての人数欄が埋められたらグランドスラム達成です。
(1グループが4人以上の場合でも、1人～4人、すべて埋まればグランドスラムです。)

人数	交通機関や町の施設などで困ったこと（経験）
1人	
2人	
3人	
4人	



困ったことの内容を、発言した人と同じように感じた人の数を合計した人数の所に書き出していきます。

だれ 誰もが過ごしやすい避難所をめざして
す ひなんじょ

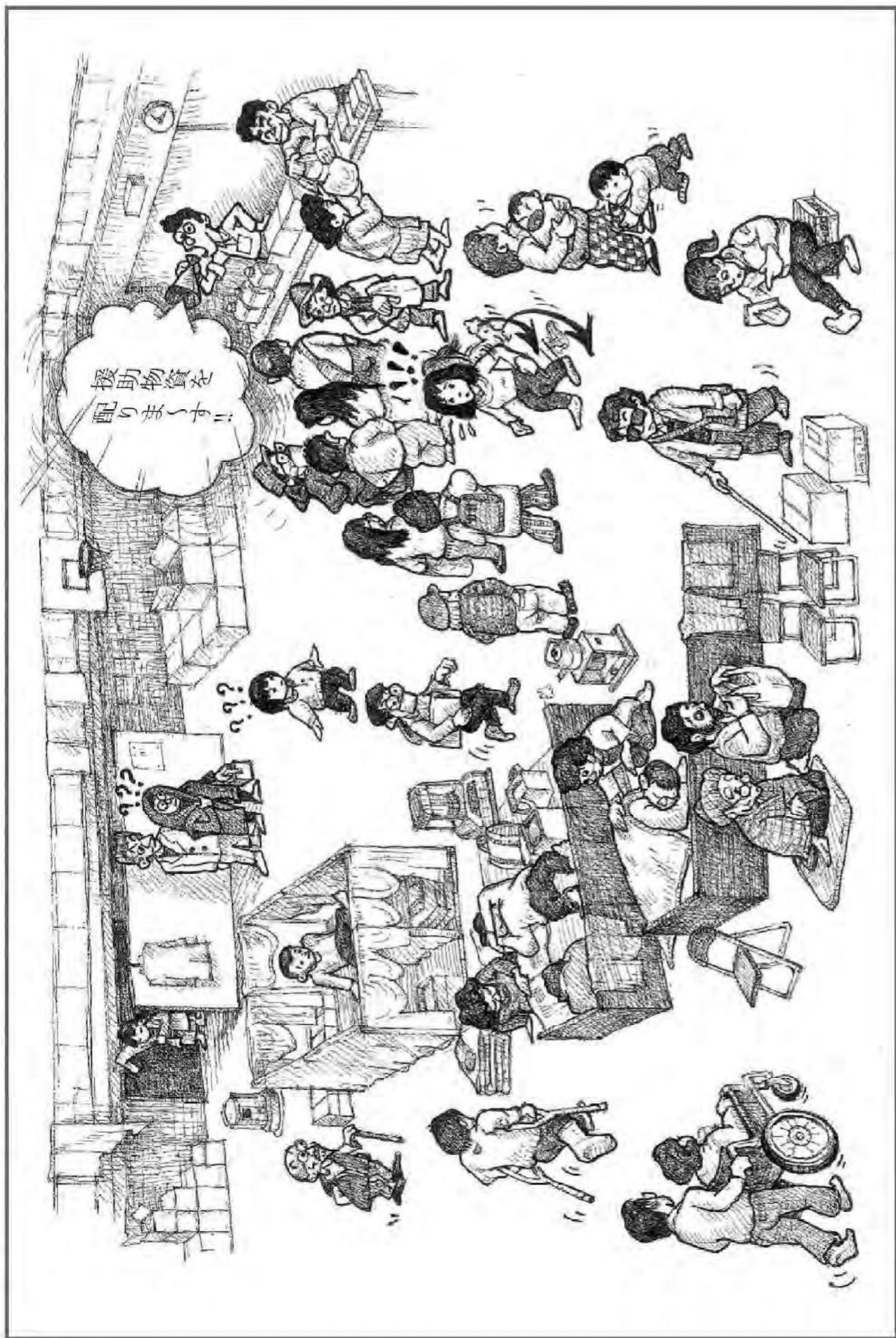
()年()組()番 名前_____

どんな人が	こま 困っていること

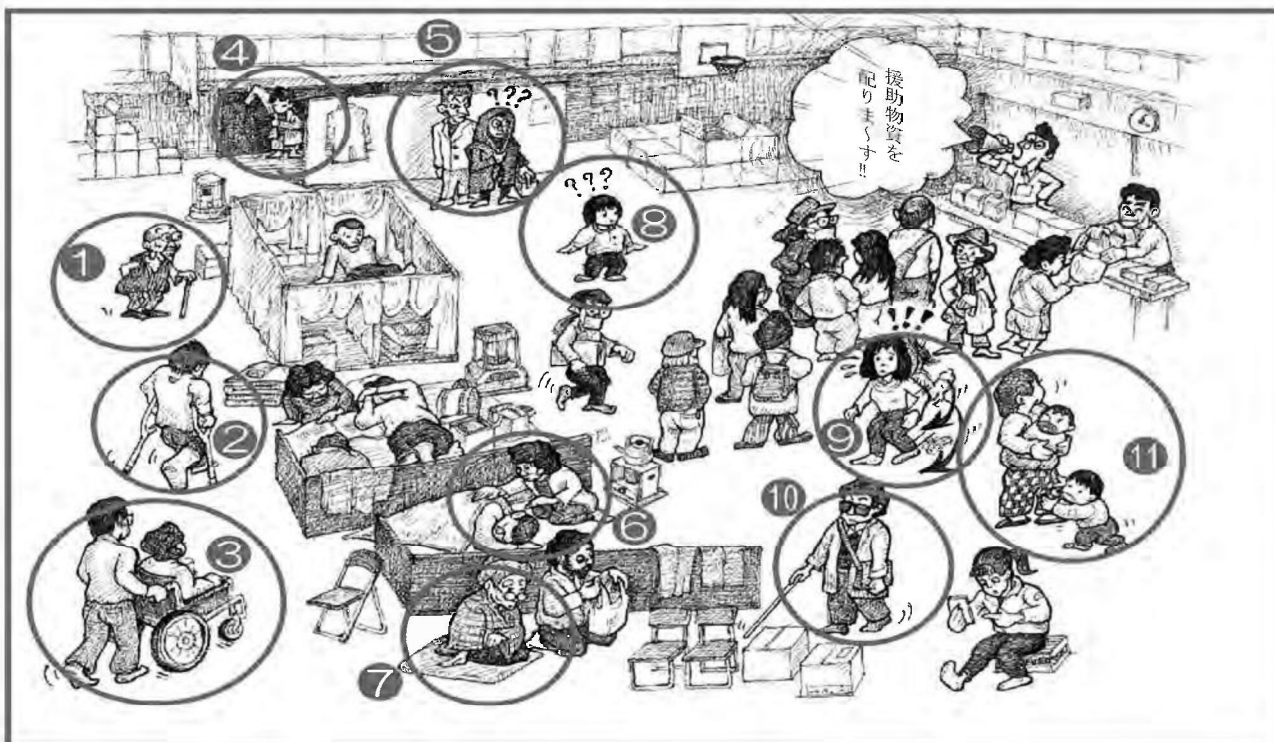
かいけつ ほうほう
解決する方法

だれ 誰もが過ごしやすい避難所にするためには
す ひなんじょ

イラスト「誰もが過ごしやすい避難所をめざして」



「誰もが過ごしやすい避難所をめざして」予想される回答例



(ここで示すのは例であり、同じ場面でも複数の捉え方ができます。)

【困っていることの例】

- ① 高齢者・・・階段や段差、障害物による移動の困難
- ② ケガをした人・・・階段や段差、障害物による移動の困難
- ③ 車いすに乗った人・・・階段や段差、障害物による移動の困難
- ④ 女性・・・着替える場所、常に男性が周りにいる状況
- ⑤ 外国につながる人・・・日本語での情報収集の困難、生活習慣や食事、宗教
- ⑥ 慢性疾患のある人・・・病気のことが理解されない
- ⑦ 介護を必要とする人・・・食事、排せつ、着替えなど日常生活全般に介助が必要
- ⑧ 子ども・・・周囲の状況判断や理解の困難、保護者が面倒を見ることが必要
知的障がいのある人・・・周囲の状況判断や理解の困難
- ⑨ 女性・・・物資を配布しているのは、男性ばかりなので、人によっては受け取りづらい場合がある
- ⑩ 視覚障がいのある人・・・周囲の状況判断や伝達が困難
階段や段差、障害物による移動の困難
- ⑪ 小さい子どものいる家庭・・・子どもの面倒を見なくてはならない

【解決する方法の例】

- ①②③⑩・・・施設のレイアウトを工夫して、通路を確保する
- ④・・・女性専用のスペースの確保
- ⑤・・・同じ国の人が集まれる場所の確保、多言語や母国語による情報提供
- ⑥・・・落ち着いた環境、衛生面の配慮
- ⑦・・・介助者や付き添い、話し相手
- ⑧・・・周囲の人の見守りや声かけ
- ⑨・・・避難所の運営に女性が参画すること
- ⑪・・・母親等が安心して養育できる環境への配慮
一時的に小さい子どもを預けることができる場所の確保